



写真提供 Drs.HENRY SUSANTO (Mataram Yogyakarta RC)

基本的教育と識字率向上月間

JOIN LEADERS
EXCHANGE IDEAS
TAKE ACTION

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ …………… 1 | 6. クラブ通信 …………… 13 |
| 2. ロータリーモーメント …………… 3 | 7. 2016年6月会員数の増減および出席率 14 |
| 3. ロータリーコラム …………… 5 | 8. 2015-16年度 6月会員の動き …… 裏面 |
| 4. ロータリーの歴史 …………… 7 | 9. 米山梅吉記念館便り …………… 裏面 |
| 5. ロータリー情報 …………… 10 | |



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



2016-17年度 第2650地区

刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ

人類に
奉仕する
ロータリー2650地区 ロータリークラブ
会長・幹事の皆様へ

謹啓

長く暑い夏が終わりました。朝夕は若干凌ぎやすくなっていますが、まだまだ厳しい残暑が続いています。会長幹事様にはどうかご自愛頂き、素晴らしいロータリーライフをお過ごし頂きますようお願い致します。

さて、現在、私はクラブ訪問に明け暮れる日々を過ごしております。会長幹事様、クラブ理事役員の皆様との懇談会も大変和やかな雰囲気の中で、有意義なコミュニケーションの場を戴いておりますことに感謝申し上げます。皆様のご要請やご期待にできる限り沿えるように努力致しますが、何分至らない点はご容赦のほどお願い申し上げます。

訪問させて戴きましたクラブ様は、会長様の強いリーダーシップのもと、それぞれ友情あふれるクラブ運営やロータリーらしい奉仕が推進されている姿を拝見し、感服致している次第です。

ところで、9月ロータリーの「基本的教育と識字率向上月間」(Basic Education and Literacy Month)となっております。

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項であります。1997年7月の会合で理事会は毎年7月を識字率向上月間と定め、更に2005年7月の

理事会決定によって、2006～07年度より3月が識字率向上月間(Literacy Month)となりました。しかし、昨年度から特別月間については、6つの重点分野を強調するものに変更となり、9月が基本的教育と識字率向上月間となりました。

基本的教育と識字力は、貧困問題や保健上の課題に取り組むためには必要であり、地域社会の発展を導き、争いのない世界を実現するには欠かすことのできない要素ともなっています。ロータリーでは、「基本的教育と識字率向上」の重点分野に該当する数多くのプロジェクトが実施され、国連ミレニアム開発目標を力強くサポートしています。識字率は世界全体で向上しており、教育における男女間の格差も縮小してきていますが、今後も状況を改善していくにはさらなる支援が必要となります。

発展途上国では、人口増加、資金不足、戦争や内戦・民族間紛争、宗教等の慣習に基づく性差別等があいまって、識字率(字が読める人の割合)の向上は容易ではなく、現在でも15歳以上の人口のうち7.7億人を超える人々が字を読むことができないと言われています。今や成人と子供の非識字は、高度の工業国も発展途上国も含め、地球規模の問題となっています。

それぞれのクラブ様に於かれましても、財団補助金などをご利用戴きながら、是非このような人道的奉仕

*8月号月信ガバナーメッセージに一部不正確な表現がございましたので、訂正させて頂きたいと存じます。
P2左側の段、16行目に 会員資格(一人一業種)とありますのは「会員身分」にご訂正戴きたいと存じます。

に関心を持って戴きますようお願い申し上げます。

ここで、私が経験した^{ささ}細やかな海外での教育支援に関する奉仕活動をご紹介します。何かのご参考にして頂ければと存じます。

それは4年前のことでした。^{かね}予てから友好関係にありました、タイのチェンマイクラブとの共同事業を行いました。特にこの事業は、今までチェンマイクラブと共同で行ってきた事業の中でも最大のものでした。

事業内容はチェンマイ県オムコイ郡ソッコング地区という、ミャンマーとの国境に近い険しい山岳地帯（少数民族のカレン族が点在して住む地域で、タイでも最も貧しい地域）の28のコミュニティー教育センター（非正規の学校）の建物の改築ならびに教育備品を整備とこの地域の教育向上および衛生環境の改善でした。

日本側の代表として私が就任し、事前視察、進展状況のチェック、完成式典と数回にわたり現地を訪問しました。そこは大変な山奥でチェンマイ市内から片道6時間以上も掛り、しかも山の中に学校が点在しているため、現地の学校に宿泊しながらの訪問でした。しかし、そのような苦労を重ねながら、ようやく完成した学校における祝賀式典での教育長の心からのお礼の挨拶は、私たちの胸を打つものでした。

教育長によれば、現地はタイ国でも最貧地域の一つであり、かつてはケシの栽培が最も盛んで、これによって村人たちは生計を立てていたところでした。その後、政府は栽培を止めさせると共に、村人たちに大豆やトウモロコシ栽培などの農業と簡単な織物をするにより生計を立てるように指導したが、中々貧しい生活から脱却することはできませんでした。タイ王室もこ

の貧困の窮状を見かねて、各村に小さな非正規の学校施設を贈りました。しかし、更に年月とともに、これらの学校施設や衛生設備も老朽化し、大変劣悪な環境になり、子どもたちは十分な教育を受けられない状況が続いていました。

今回の私たちの支援により、教育環境は大きく改善され、施設などのハード面だけでなく、教育方法や衛生面などソフト面でも大きく改善できました。

教育長は挨拶の最後に「この村には電気もなく、子どもたちは一生、テレビやパソコンを見ることがないと思っていました。しかし、今回、皆さんのおかげで、DVDやパソコンで最新のタイ語の教育を受けられるようになり、衛生設備も飛躍的に改善された。また、図書などの備品も整えられ、まるで夢のようです。今後この施設や備品を大切に使用して戴きます」と、感謝の言葉で締めくくられました。

私たちも教育長の言葉に大いに心が揺り動かされ、今回のプロジェクトに対する努力が報われる思いでもありました。

式典終了後、全員で新しくなった校舎の前で記念写真を撮り、子どもたちとの名残を惜しみながら帰途につきました。帰り際、子どもたちは、また小走りに入り口に整列し、私たちの姿が小さく見えなくなるまで、手を振りながら見送ってくれました。

今回のプロジェクトを通じ、私たちはロータリーの奉仕の素晴らしさをあらためて実感すると共に、ロータリー活動によってこのような体験を得られた事に心から感謝しています。

謹白

2016-17年度ガバナー

刀根 莊兵衛

ありがとう

清水英雄

何かをしよう

みんなの人のためになる

何かをしよう

よく考えたら自分の体に合った

何かがある筈だ

弱い人には弱い人なりに

老いた人には老いた人なりに

何かがある筈だ

生かされて生きているご恩返しに

小さいことでもいい

自分にできるものをさがして

何かをしよう

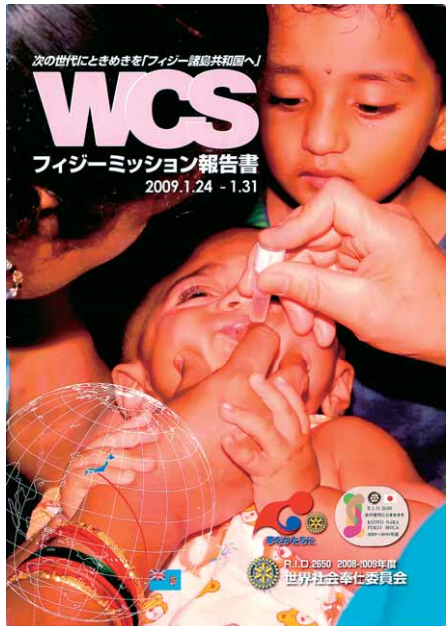
一年草でも

あんなに美しい花をつけて

終わってゆくではないか

ロータリー モーメント

Rotary Moment



「感動のフィジー。ポリオミッション」

2016-17年度 ガバナー補佐
平田 好祐 (福井フェニックスRC)

フィジーでは老若男女を問わず、全ての人が人に出会うと人懐っこい声で「ブラァ」と声をかけてくる。私達も「ブラァ」と返す。

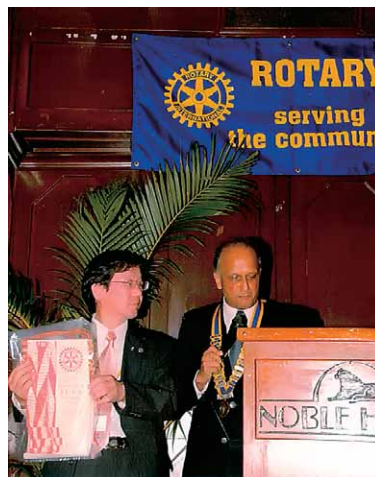
2008年～2009年。2650地区、川端ガバナー年度。世界社会奉仕ポリオミッションは1月24日。成田国際空港で結団式が催された。団長は橋本長平パストガバナー。

副団長は松村善作地区幹事長。団員は41名。私は世界社会奉仕委員長でした。毎年2650地区ポリオミッションはハプニングの連続。今回も御多分にもれずミッションの一週間前よりフィジーは大雨。ナンデイ地区大洪水。橋本団長に相談。「フィジーが大洪水なら、なおさら行くべき」との強い言葉。

この言葉に押され予定通り決行。支援物資15個を手荷物で通関。8時間30分のフライト。到着後、①ポリオワクチン投与②ソーラー焼却炉贈呈③小児を対象としたB型肝炎ウイルス感染率、微量栄養素調査の実施に掛かる援助④レブカ小学校への教育支援⑤JOCV現地隊員への支援。この5つの支援のセレモニーが橋本団長とWHO地域代表ドクターチェン氏と、保険省統括病院長キテイ氏との間で行われた。翌朝、チャーター機でオバラウ島へ。島の町の名はレブカ。レブカ小学校での教育支援。お礼に我々が支援した中古のハーモニカで生徒が演奏。生徒達の歓迎のダンス。最後は全員で手に手をつないでの大合唱。隊員の多くが感激で大粒の涙。翌日はスバへ。またまたハプニング、チャーター機が離陸直前にフェンスに激突。飛行不能。隊員の無事を確認。翌日はナンデイで300名の感動のポリオ投与。フィジーミッションは大成功に終わりました。ポリオミッションはリピーターが非常に多い。感動の連続だからです。今年度の11月2日からのラオスポリオミッションへの是非のご参加をお勧めします。



焼却炉火入れ式 (レブカ病院)



スバRC例会にて



レブカ小学校への教育支援物資の寄贈



引渡式

「心に残るロータリーの体験（国際交流）」

2016-17年度 規則・手続委員長

佐藤 公一（平城京RC）

私は平城京ロータリークラブに入会して今年で32年目となります。その中で印象に残っている体験があります。いずれも海外の姉妹・友好クラブとの交流です。

一つはオーストラリア、キャンベラのバーリー・グリフフィンRCを友好クラブ締結で訪問した時のことでした。昼の例会ですが、みなフランクな服装で、にぎやかに談笑しているうちに例会が始まり、しばらくすると一人のメンバーがその席で立ち上がり、「先週、こんな、うれしいことがあった」と話し始めたようでした。話の合間にドット湧きましたので、面白い話をされたのかな？と聞いておりました。スピーチが終わると、「コイン」をボックスに入れられました。日本円で500円程度のような感じでした。

そのときに、私は、自分のクラブでも「聴いて嬉しく、楽しく、しかも安価な」ニコニコができればなと思いましたが、中々実現は難しいですね。

又我々のクラブは中華民国（台湾）、中和市の中和ロータリークラブ（中和市は台北の北へ車で約1時間の街です）と創立5周年のときから姉妹クラブの締結をし、以後お互いの周年記念祝賀会に参列しています。

そのとき、中和RCのメンバーはほとんど夫婦同伴で来られ、「会員のしおり」にも夫婦の写真と名前（夫婦別姓）と愛称が記載されています。しかも、その婦人方が交際家で、お土産を私のクラブ員全員に配られ、名前もすぐに憶えて、大歓迎して頂きます。

我々日本人は中々そこまで親しく、アットホームなお付き合いが苦手な向きもあり、又、祝賀会にもメンバーの半数位は単独で訪問することが多く、距離的に近い台湾といえども夫婦同伴で行動することが少ないと感じます。これもお国柄の違いかなと思いました。

このようにロータリークラブに入りますと親しく国際交流ができ、その国柄や家族、ロータリーの活動の仕方など、その違いは興味深く、又日本につき、考えさせられることが多いように思います。

「吉江学園の子供達」

2016-17年度 財団補助金委員長

井澤 茂（福井北RC）

児童養護施設「吉江学園」は親がいない子、いるけど育ててもらえない子供達が一緒に暮らしている施設です。

昨年10月24日（土）、当クラブの梅田会長が昔クラブで、その施設の子供達と一緒に遊んだ事、手を繋いだ小さい子の言葉と手の温もりが忘れられないとの自らの感動話から、施設の子供たち（幼児から高校生まで）と先生方21名を、当クラブ会員19名が足羽山に招待いたしました。

大きい子もいるのにこんな小さい足羽山動物園でいいの？と思っていましたが、動物園で自由解散した瞬間、子供達の笑顔、弾けるように我先へと動物園に駆け下り、小学生は各々動物と触れ合い楽しみ、大きい子供達は小さな子供達の面倒を見ながらも一緒に楽しんでおりました。その後、園内の遊具で遊び、お気に入りの遊具で何度も何度も繰り返し遊んでいました。私達もいつの間にかその笑顔に惹かれ、またその笑顔が見たく遊具で遊ぶ補助に汗を拭くのも忘れて一生懸命していました。やがてお昼を食べる会場まで歩く事となり、会った最初は警戒していた子供達もすっかり打ち解け、一緒に歩くと子供達から自然に手を繋いできました。他愛もない好きな食べ物の話やゲームの話。繋いでいる手は暖かく、明るい笑顔で話しかけてくる子供達の顔はとても天真爛漫で、とても可哀想な境遇で育てている等という悲壮感はなく、逆にどんな恵まれた環境で暮らしている子供達より輝いて見えました。

ロータリークラブに入り、クラブの先輩より奉仕のする事の素晴らしさの体験談を聞き、また自らそれを感じる事が出来ました。ロータリーは奉仕をする人を育てる素晴らしいところだと思います。またその高潔なロータリーの精神を私も継承していきたいと思えます。

ロータリーコラム

第3回

2016-17年度ガバナー
刀根 莊兵衛



奉仕と親睦がロータリーの両輪 そして、それを結びつけるのが寛容の精神

奉仕と親睦がロータリーの両輪。私は30数年前にロータリークラブへ入会してから、このように教えられてきました。しかも、多くのロータリアンはこのフェローシップの日本語訳である『親睦』の意味を、親睦活動と取り違え、親睦活動と対外奉仕活動がロータリーの両輪であると信じてきたのが現実ではないでしょうか。

そこで最初にこの親睦（フェローシップ）について考えてみたいと思います。新年度になるとこの「親睦と奉仕」をクラブテーマに掲げる会長も多いようですが、日本語で親睦と言え、いわゆる宴会やゴルフや旅行などの親睦活動をイメージする機会が多いように思います。しかし英英辞書を調べますと、フェローシップ“Fellowship”は、『何かを一緒に行く、または同じ趣向を持っている人々の中で生まれる友情の気持ち、すなわち仲間意識、連帯感』という説明が書かれており、いわゆる親睦活動とは違います。

ロータリーでフェローシップ“Fellowship”を『親睦』と訳したことが誤解を生む原因かもしれませんが、この言葉はむしろ、『友情』とか『友愛』と訳す方が英語の意味を適切に表現しているかもしれません。ちなみに、米山梅吉翁はポール・ハリスのThis Rotarian Ageを翻訳するに当たって、その書名を「ロータリーの理想と友愛」と翻訳し、親睦=友愛という意味で使われています。また戦前のクラブ組織表では、親睦活動委員会は友愛委員会という名称が使われていたようです。

ところで、ポール・ハリスはその著書“My Road To Rotary”の中で、ロータリーを始めたきっかけをこう述べています。「ある晩のことでした。私は同業の知人に誘われて、彼の郊外にある家を探ねました。夕食後、二人で散歩に出かけたのですが、店の前を通るたびに、友人は店の主人と名前を呼び合って挨拶をしていました。私は、はたと、ニューイングランドのウォリングフォードのことを思い出しました。その時、この大都会シカゴで、各種の職業から政治や宗教の立場を離れて、お互いの意見を大らかに認め合えるような人を、一人ずつ選んで親睦団体を作ったら、という構構が浮かびました。」と。ロータリーの創立の原点にはこのようなフェローシップ、つまり本当に心から何でも話し合える友人を作るという目的があったのも事実であります。

事実、初期のロータリーの目的（綱領）にフェローシップという言葉が書かれていた時もありましたが、現在のロータリーではフェローシップの文字は消えて、その目的は「奉仕奉理念を育成し、これを奨励実践する」と言うこ

とになってしまいました。ただ、これはフェローシップが否定されていると言うことではなく、フェローシップがロータリーの目的ではその前提条件となっているということの意味です。つまり、例会でお互いに友情を温め合い、切磋琢磨して奉仕理念を学び、そして例会から一歩外へ出たら奉仕活動実践を行うと言うことになります。そして、フェローシップを助長する一つ的手段としていわゆる親睦活動があると言う順番になります。

また、ロータリー運動の実体を見事に表した言葉として、[入りて学び、出でて奉仕せよ] Enter to learn, Go forth to serveという表現があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを『親睦』と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

一人一業種で選ばれた会員が毎週開かれる例会に集って、お互いが師となり徒となりとなって、奉仕の心を学び自己研鑽を重ねます。それをロータリー運動の一つの柱と考えて、それを達成するために試みられる、ロータリアン同士の真の友情に裏打ちされた凡ゆる活動のことを、ロータリーでは『親睦』と定義付けているのです。

また、世に有用な職業をすべて正業と考えるロータリーの職業観から、職業の貴賤や上下関係はなく、大会社の社長も小さな商店の店主も、元請けも下請けも、すべて平等という考え方を採っています。つまり世俗の論理や縦社会のしがらみ一切を認めていないのです。

『奉仕』という概念には、奉仕の心、奉仕理念と言う意味、行動としての奉仕の実践の二通りの意味がありますが、親睦と対比して奉仕という言葉を用いるとき、それは奉仕の実践を意味します。なぜなら前に述べた通り、奉仕の心を形成することと親睦とは同義語だからです。そして奉仕活動の実践分野は、ロータリー理論の中に五大奉仕の定義が定められてはいるものの、その実行に当たってはクラブの裁量権が認められています。

さて、フェローシップの説明が少し長くなりましたが、フェローシップ（親睦）と親睦を通じて培われた奉仕理念の実践というスキームを理解して戴いた上でロータリー哲学の原点について創始者ポール・ハリスの意見を聴いてみ

ることにしましょう。

1911年1月創刊の『ザ・ナショナル・ロータリアン』に発表された創始者ポール・ハリスの『合理的ロータリアニズム』はロータリアンの拠(よ)って立つべき原点を照らしており、今もなお不滅の光芭(こうぼう)を放っています。彼はその中で、ロータリー哲学とは何かを語る4名のロータリアンを登場させています。まずA氏。

A：道徳を重んじるA氏

ロータリーの特色として、自身の事業上の利益の追求を挙げることは危険であるように思える。クラブはクラブ自身の目的のためにあるもので、事業上の利益のためにあるものではない。クラブの主な目的の一つは仕事から離れ、休息とレクリエーションを楽しませることにある。

B：物事を割り切って考えるB氏

事業上の目的のためにクラブに入ることが不名誉かどうかは、クラブ、その目的、そして入会者が入会の際、何を誓約するかによる。事業上の目的を持って実業クラブに入会することは、社交を目的とする社交クラブに入会し、あるいはスポーツを目的とするスポーツクラブに入会するのと同様、何ら咎むべきことではない。

「合法的な取引は、双方にとって利益になるのです。私は、相手に私と取引する機会を与えると、ちょうど私自身に対するのと同じように、相手にも大きな恩恵を与えていると信じている。」

「ロータリーとは、仲間の会員に事業上の利益を与え、自分の事業を仲間の間に広め、あるいは仲間の会員から事業上の利益を得て、そしてまた会員によって世の人々に自分の事業を広めてもらう、ということを目的とする以外の、あるいはそのような目的よりもっと高いものを目指すものであろうか」

C：何事にも現実的に対応するC氏

ロータリークラブに入ったのは、勧誘してくれた人が、このクラブは事業上の利益を目的として集まった、異なる業種の事業家のグループであると言ったからで、私にはそれが非常に合理的なプランであるように思えたからだ。会員になることは200～300人のお得意さんを得るようなもので、事業家が儲け話を求めていつも私に接触してくる。このように話をもちかけられた時は、話があまりにもうますぎると思った。しかし私の考えでは、クラブの性格が事業クラブであっていいし、また社交的、または公共的目的を持ったものでもいいと思う。だが社交的あるいは公共的性格を持ったクラブは、ほかにもたくさんあるので、やはりロータリーは事業クラブとしてとどまったほうがよいと思う。

D：D氏は公共心に富み、常識の豊かな人

私はロータリーというものを、社会に恩返しするための団体であると考えてきました。こう考えますと、自分の地域社会のためになることを行い、そうしながら何か自分自身のためになることも、できるかもしれないと思うのです。

「ロータリーのバッジは資質の保証となるべきものでなくてはなりません。私はB氏(物事を割り切って考える人)が語ったすべてを正しいと信じております。正当な事業取引は、何ら不名誉ではありません。

それからまたC氏(物事に現実的に対応する人)の言ったように、お金儲(もう)けの手段としてロータリーを考えることも、あながち間違っていないでしょう。しかし、もう一つ大事なことは、ロータリーは公共的福祉の増進のための力であるということです。

D氏はこう述べています。

ポール・ハリスは最後にこの4名の意見を総括して論評を述べます。

この4人、すなわちA、B、C、D各氏の熱心なご意見を大変楽しく聞かせていただきました。そこで私が思うに、すべてのロータリークラブの会員のほとんどは、次の3つの種類のいずれかに当てはまるのではないかと考えるのです。すなわち、

- (1) ロータリーに商売を持ち込んでほしいと主張するA氏と同じ考えの人。
- (2) 商売こそロータリーのすべてであると信ずるC氏と同じ意見の人。
- (3) ロータリーとは、公共的活動および親睦を、商売と合理的に混ぜ合わせたものであるとするD氏と同じ考えの人。

真のロータリアン哲学として受け入れられ、ロータリアンにも、また、ロータリアンでない人々にも同じように理解され、尊敬される見解は、この3つのうちのどれか1つ、またはそれに近いところにあるはずです。

しばし沈黙して、初めに書いたあの独白"寛容"の一語に耳を澄ましてみようではありませんか。それからまず、真剣に自ら反省し、それを表現してみようではありませんか。ロータリーは巨大にして強力な機構です。もし野放しにされるなら、それは全人類の脅威とさえなるかもしれません。しかし、適正に導かれたなら、それは私たちが恥じるには及ばぬ、人間味のある機構となるでしょう。

もし私たちのこのロータリーが、つかの間の存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方そして私たちがお互いの欠点を我慢し合う、すなわち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えましょう。

最終的な答えは書いてありませんが、ポール・ハリスが一番賛同したい意見はDだろうと思います。つまり、ロータリアン同士お互いにフェロウシップを発揮して、上手く商取引を行うと同時に、商売をさせて戴いている地域社会に対しても奉仕活動と言う恩返しをすることを合理的に結びつけるものがロータリー哲学であるということになります。しかもその根底には、寛容の精神がなければならないということが最後に付け加えられています。

そして、寛容と言う言葉について、ポール・ハリスは次のように述べています。

友情は、ロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神は、ロータリーを結びつけるものです。もしこの寛容の精神がなければ、各ロータリークラブのあふれんばかりの原子力エネルギーで、ロータリークラブはこなごなになってしまうでしょう

(My Road to Rotary)

寛容という一般性の高い精神が、努力の末得られる唯一不変の成果である、と証明されるとしたら、それだけでもロータリーの存在意義があるでしょう。

(This Rotarian Age)

つまり、ロータリーはこのような寛容の精神の土台の上に奉仕活動と会員間の良い人間関係(親睦)とを自分自身の職業活動にいかにか調和させていくかを追求していくことがポール・ハリスの説くロータリー哲学だと言うことになるのかもしれませんが。決して単純に親睦活動と奉仕活動がロータリーの両輪だと説いているのではないように思うのですが、皆様はいかがお考えでしょうか？

参考：Third. Those who believe with Mr. Altruistic Equilibrium that life in Rotary should consist of a rational mixture of business with civic activities and good fellowship.
事業(商売)と社会奉仕活動および良好な仲間関係の合理的混合物

ロータリーの歴史

第3回「ロータリー奉仕理念の歴史」

1900年当時、アメリカでは雨後の竹の子のように数多くの社交クラブが生まれ、そしてまた消えていきました。そのような中で、100年を経て今日まで生き延びることができたクラブ組織は極めてまれであり、中でもロータリークラブ（ライオンズクラブ、キワニスクラブなども含めて）をはじめとする、所謂サーヴィス（奉仕）クラブだけが、現在でも人々の高い評価を得ながら発展を続けています。

今回はその理由を考えながら、ロータリーの奉仕理念の歴史を振り返りたいと思います。

先に結論を述べてしまえば、これら生き延びたクラブの共通の特徴は、利他へのサーヴィス（奉仕）ということに、尽きるのではないかと私は考えています。自分たちの仲間のためだけに存在するようなグループは、例えどのような組織であっても、所詮利己的な組織であり、世の中の評価を得て長く続くことはできないということだろうと思います。そこには、人類の普遍的な理念、利他の心、サーヴィス（奉仕）哲学と言ったものがなければならないのだと思います。

歴史に『もしも』はありませんが、もしもロータリークラブが、当初の掲げた会員の相互扶助と親睦のみを目的とした社交クラブの域に留まっていたとしたら、きっとその寿命は短命に終わっていたかも知れません。

また、もしも1906年にドナルド・カーターが、対社会的奉仕活動という概念を提唱しなかったら、1908年にアーサー・シェルドンが入会し、Service（サーヴィス）という概念を提唱しなかったとしたら、更に1923年にウイル・メーニャやポール・ウエストバークが、決議23-34によってサーヴィス（奉仕）理念の定義を確立させなかったとしたら、今日のロータリーは存在しなかったことでしょう。

ロータリークラブの存在目的を、利己を目的とする親睦や相互扶助から、他人の事を思い遣り他人のために尽くす奉仕に転換させたことが、ロータリーの発展

に繋がったのです。

さらに、ロータリー運動がただ一人の指導者の発想に捉われることなく、毎年指導者が交替し、革新を続けるという斬新な運営方法を採用したことも、ロータリーが発展した大きな要因の一つではなかったのかと考えています。

つまり、ロータリー運動の理念構築を、最初に一人のスーパーマンがすべてを決めて、それを現在まで管々と守ってきたわけではなく、その時々次々と卓越したロータリアンが現れ、組織の理念を発展構築して行ったことが、特筆すべき点ではないかと考えています。そしてその過程は現在においても、まだ続いているのかもしれませんが、ちょうど、バルセロナの有名な寺院、サグラダ・ファミリアのように。

さて今回は、2710地区 諏訪昭登PDG（広島西）がまとめられた歴史資料を引用し、ロータリーの一番大切な基本原理であるサーヴィス（奉仕）理念の変遷を辿ってみましょう。

● “Ideal of Service”の真意解明のための歴史的考察 － ロータリー発祥の地アメリカからの考察 －

ロータリーで最も重要な言葉である“Ideal of Service”（奉仕の理念〈理想〉）の真意は、歴史的考察なくして解明できない。歴史考察の4W = When、Where、Who、What を念頭に。

- 1905年、ポール・ハリスは3人の仲間と共にロータリーを創立（シカゴRC）。親睦と職業上の相互扶助を目的として始まった。
- 1906年、クラブの目的に、そこに社会への貢献が加わった（ドナルド・カーターの進言による）。
- 1907年、カーターの進言により、社会への奉仕活動としてシカゴ市内2カ所に公衆トイレを設置（1909年完成）。
- 1908年、P.ハリスが三代目会長であった時、A.フ

レデリック・シェルドンとチェスリー・ペリーが入会。シェルドンは、business（商売、経営）は service（サービス）の科学であるから、職業人の集まりであるロータリーの哲学は、serviceの哲学であるべきだと強調。ハリスはこれに大いに賛同して、シェルドンを Publicity and Extension Committee 委員長に任命し、シェルドンの考えをロータリーの宣伝と拡大のために急進的に推進したが、一部会員の反感を買い、親睦派と奉仕派との対立を惹起してハリスとシェルドンは年度途中で辞任した。

- ・1910年（第1回シカゴ大会）、ハリス、シェルドン、ペリーは、シカゴRCでの推進を断念し、全米RC連合会（National Association of Rotary Clubs of America）を組織した（ハリス会長、ペリー事務総長、シェルドン Business Method Committee 委員長）。

シェルドンは祝宴の中で、businessの科学は human serviceの科学であると語り、“He profits most who serves his fellows best.”と自身の職業観を表現したモットー（標語）を発表して多くの賛同者の拍手を得た。最初の綱領（Objects）発表、親睦を削除。

- ・1911年（第2回ポートランド大会）、シェルドンはペリーの代読で businessの科学は serviceの科学であると述べ、“He profits most who serves best.”と修正した標語を含む「私の宣言」を発表し、満場の拍手を得た（この標語は大会の「ロータリー宣言」の結語として採用され、その後は職業奉仕理念と解釈され、1950年に公式標語となっている）。

また、ミネアポリスRCのフランク・コリンズが大会の小旅行企画の船上で語った“Service, Not Self.”については後日機関誌で発表するとの付言があった。（ポール・ハリス）

- ・公式機関誌“The National Rotarian”（1911年1月号）が創刊され、Toleration”（寛容）を強調したポール・ハリスの論文“National Rotarianism”が掲載されている。

1911年11月号には“Service, Not Self.”が掲載されたが、この標語はその解釈について問題を抱えながら1920年に“Service Above Self.”と変更され（手続要覧）、人道的奉仕理念と考えられて1989年から第一標語となっている。（コリンズの論文をよく読むと、Not Selfは決して宗教倫理ベースではないことがわかる。）

- ・1912年（ドゥルース大会）、全米RC連合会は国際RC連合会（International Association of Rotary

Clubs）と改称（グレン・ミード会長）。「ロータリー宣言」の結語として“Service is the basis of all business.”が追加（スローガンと呼称）。親睦と相互扶助を目的から一掃するRC綱領に初めて“service”という語が出現した。

二つの標語は二つの奉仕理念とされ、宗教倫理派と実業倫理派によるロータリー理念の構築が熱烈に論議された歴史が続く。

- ・1915年（サンフランシスコ大会）、理論及び教育委員会（Committee on Philosophy and Education）のグレン・ミード委員長が委員会報告の中で、“Spirit of Rotary”（ロータリー精神）を二つの局面すなわち economic side（経済的側面）と altruistic side（利他主義的側面）に分類して解説し、初めて“Ideal of service”という語を使用した。

それは、business生活において我々の仲間 high ideal of serviceを、そして人類全体にも与えられないだろうか、という語り口であった。

- ・1916年（シンシナティ大会）、グレン・ミードの後任者であるフィラデルフィアRCのガイ・ガンディカーは、前年度に採択された道徳律（Code of Ethics）を含むロータリー最初の教育書“A Talking Knowledge of Rotary”（ロータリー通解）を刊行し“Service, Not Self.”の立場でロータリー精神を解説した。

シェルドンの標語にある“profit”については、シェルドンの考えに反して優れた service をすることに關して与えられた機会であると言明した。

- ・1918年（カンザスシティ大会）、連合会の綱領に初めて“ideal of SERVICE”という語が使われた。これによって、それまで“Spirit of Rotary”や“Unselfish slogan of Rotary”など様々な表現で語られてきたロータリーの基本理念を表す用語が正式に決定したといえる。

- ・1919年（ソルトレークシティ大会）、ジョン・プール会長は、“Service, Not Self.”を初めて“Service Above Self.”と変えて演説し（これが“Service Above Self.”の初出？）、“He Profits…”と共にロータリアンの将来をより大きな usefulness（有用性）の世界に導くものであると表明した。（1912 - 18年においては not selfが使われていたが、above selfへの変遷が徐々に進んでいた。）

- ・1920年（アトランティックシティ大会）、手続要覧に正式に Service Above Self と表明された。F. コリンズが死去。

- ・1921年（エジンバラ大会）、シェルドンが「ロータリー哲学」というテーマで演説し、主に英国での profit 反発に対する説明を行った。彼は profit を徹

底して「利潤」としながらも、標語全体の意味はキリスト教理の黄金律（マタイ伝第7章第12節）と同じであると語って喝采を得た。（1913年のバッファロー大会でも同様の発言があった。）

この大会をもって“Service, Not Self.”はほぼ一般的に“Service Above Self.”と変更されたと考えられている。しかし、その後しばらくは“Service before self.”という語と共に語られていた記録も存在している。

なお、この年度の手続要覧に新たにRotary Mottoという項目が加わって、「He Profits ----- が一般的にロータリーモットーとして使用されている。また“Service Above Self - He Profits Most Who Serves Best”という形式でも使われている」とある。

- ・1922年（ロサンゼルス大会）、連合会は国際ロータリー（Rotary International）と改称。ロータリークラブの連合組織体として確実なスタートを切った。
- ・1923年（セントルイス大会）、1915年あたりから急激に拡大した人道的奉仕活動（身体障害児協会）への批判と対立は紛糾し、その収束の努力が決議23-34号として結実した。

ここで、“Ideal of service”はロータリーの哲学・人生の哲学を表す用語とされ、二つの標語として確定した“He Profits…”と“Service Above Self.”がその実体を構成するものであると認識された。

- ・1927年、Aims and Object Plan Committee（目標設定委員会）は初めて四大奉仕部門を設定するプランを発表・採択した。その1931年版RI公式パンフレットの「職業奉仕」の部分で、次のような説明がある。（英語版p.24）

「ロータリーでは奉仕の理想（ideal of service）の意味について様々な表現がわかれた。『“Service Above Self”、“He Profits Most Who Serves Best”、“thoughtfulness of others”（他者への思いやり）、“most of all treating as one would like to be treated”（自分にして欲しいことを何よりもまず他者に与える）』がある。」

これが最初の正式な説明であり、当時のideal of serviceの解釈と考えてよい。黄金律が宗教的立場から離れてideal of serviceの根底に常に置かれている。（1918年に連合会の綱領に初めて登場して以来のideal of serviceがこのように説明された。）

- ・Ideal of Serviceは以上のような歴史を辿ってロータ

リーの基本理念として確定したが、その後1950年（デトロイト大会）にはその構成要素である二つの標語が正式にロータリーモットーとして採択された。

- ・1989年2月、規定審議会は“Service Above Self”を第一標語とする決議を行った（89-145）。“He Profits…”も引き続き公式標語として残すものである。日本最初の手続要覧日本語訳（1956年）には“He Profits…”を「最善奉仕最高応報」とある。2年後（1958年）からはほぼ現在の訳文となった。
- ・1984年から二つの標語を中心理念としている決議23-34の削除提案が度々提出されたが、その都度否決されている。時代変化を反映するものとは言え、ロータリーの哲学を表現したIdeal of Serviceを意味する「人生の哲学」を規定した23-34、特にその第一項目を削除することは決してあってはならないということが、2010年の規定審議会で改めて決議され、理事会も採択している（10-182）。

- ・かつて“Ideal of service”を説明する正式な文章はないと言われていたが、唯一、2008年版までのOfficial Directory（公式名簿）の巻末にチェス・ベリーによると言われる一文があった。そこには、the“ideal of Service,”which is thoughtfulness of and helpfulness to others とあり、これは1954年3月にオクラホマ州タルサRCでベリーが語ったものと思われる。

“他者に対して思いやりと手助けを”という表現はabove selfへ傾いた表現で、当時の傾向が表れている。なお、2009年版からは“ideal of Service Above Self”と作者不明のフレーズが載っている。

●結び

以上のように歴史的沿革を理解すれば、二つの標語はその軽重を論ずることなく同意義のものとしてワンセットで語られるべきことは明確であることがわかります。特に、“He Profits Most Who Serves Best.”が原点的出発であることは銘記すべきでしょう。（2010年から“One Profits Most Who Serves Best.”に変更された。）

理念なき行動は盲動となる危険をはらみます。実践法則は時代の変化につれて慎重に改変する必要があるが、ロータリーの基本理念Ideal of Serviceは決して変えてはならないものでしょう。

（引用文献：2710 地区 諏訪昭登PDG（広島西）ロータリー歴史に学ぶ1～3）

* 8月号月信ロータリーの歴史に一部不正確な表現がございましたので、訂正させて頂きたいと存じます。

P7左側の段、下から4行目に「50人未満のクラブは一業種5名まで、50人以上のクラブは10%までの入会が可能」とありますのは「50人以下のクラブは一業種5名まで、51人以上のクラブは10%までの入会が可能」にご訂正戴きたいと存じます。

R I 戦略計画最新情報から見えてくる方針修正

戦略計画最新情報

2016年4月 規定審議会に於ける プレゼンテーションより抜粋

2015年10月開催のRI理事会において、『ロータリーは絶えず変わる世界に遅れずに付いて行かねばならない』ということが確認されました。

急速に変化している私たちの社会では、時間、エネルギー、リソースをめぐって、激しい競争が起きています。

つまり、ロータリー組織のリーダーとして、私たちは、私たちが持っているエネルギーをロータリアンであることの特典や価値に絶対的確信を持っている会員に焦点を当てなければならなりません。

- ・私たちは時代の変化に適応しなければならない
- ・私たちは次の100年へ向けてロータリーのあるべきビジョンを打ち立てねばならない。

2015年10月の決定

理事会は以下のことに同意



近年、国際ロータリーは、ロータリーが国際的な人道的ボランティア組織を目指しているかのような方針を打ち出していました。しかし、最近になって、国際ロータリーは、その考え方を少し修正するような発言が見られるようになりました。本年4月に開催されました規定審議会におけるRI戦略計画の最新報告のプレゼンテーションからその変化の様子を引用させて戴きます。

創立当初よりロータリーは職業を代表し、地域社会のリーダーの組織として、ロータリアン自身の自己研さんを含めて、職業倫理道徳向上をひとつの大きな目的として発展してきました。

① 最近までのロータリーの位置づけ

：人道的奉仕団体

近年、国際ロータリーは、ロータリーと言う組織の在り方について、世界的な人道的奉仕団体であると言う立場に大きな比重を置くようになりました。



② 他団体との差別化の機会以下の「および」が重要

しかし、私たちは様々な職業や地域を代表する会員の団体であると同時に、人道的奉仕を行う団体という、他にはない特徴を有しています。

つまり、ロータリーは様々な職業を代表する会員の組織であるという一面と、もう一方で、人道的奉



仕を行う組織であるという2つの側面のバランスを取らなければならないということです。

③ 私たちは、地域社会や世界に変化をもたらすために、リーダーの入会を促し、アイデアを交換し、アイデアを行動に移さなければなりません。

世界各地のロータリー会員に、「あなたがロータリーで熱心に活動する理由は？」と問いかけたところ、次の3つに集約される答えが返ってきました。

リーダーのネットワーク：ロータリーは、世界の様々な国や職業のリーダーのネットワークです。

アイデアを広げる：ロータリーは、多様な会員の

アイデアや職業の専門知識を生かして、地域社会のニーズや問題に取り組みます。

行動する：ロータリーは、世界中の地域社会を長期的に改善するために行動します。

以上から、上記の3つの言葉（**リーダーのネットワーク・アイデアを広げる・行動する**）がロータリー運動の本質なのだと国際ロータリーは定義しています。

ロータリーの本質を表すこれらの言葉は、実際に実行してこそ意味があります。

また、この3点は、ロータリーへの入会理由上位2つにもつながるものです。



ロータリーでは、それぞれの事業、専門職業、あるいは地域社会のリーダーたちが、一緒になってアイデアを広げ、行動し、それ結果、世界中の地域社会で、持続性のある影響を残すときに、初めてロータリーの本質というものを実感できるのです。

つまり、国際ロータリーは、ロータリーの職業分類を重視し、またそれをロータリーの大きな特徴と捉えているのです。昨今、職業分類が無視をされていると嘆くロータリアンもおられますが、今でもロータリーは職業人や地域社会のリーダーの集まりであるということを世界中のロータリアンも強く支持していると言う事ではないでしょうか。

④ 私たちは、新しい段階に導くために私たちの使命、ロータリーたらしめている価値観、新たな100年に向けての新しいビジョンに期待を寄せています。

ロータリーの未来の姿がどうなるかは、誰にもわかりません。

私たちは、次なるステップを判断するためにロータリーの**使命**に目を向け、ロータリーの独自性を守

未来に向けた戦略



るために**価値観**を忘れず、次の100年に向けて前進していくために新たなビジョンを築いていきます。

⑤ 今、私たちは、ロータリーの新しい世代のリーダーを歓迎しなければなりません。

ロータリアンが共につながり、共に奉仕する経験を継続していきます。

私たちの共通の価値観で、全ての世代の人たちを取り込みましょう。 - 必要とするすべての世代の人たちを支援するために一緒につながることで -

それでは、次の時代とは一体何でしょうか。将来においても、ロータリーを適切に保つために、私たちは何をする必要がありますのでしょうか？

どんなリソースが必要でしょうか？私たちの大きな夢は何でしょうか？そして私たちがそれらを持つ余裕があるのでしょうか？

- ⑥ ・誰でも力になれる
自分にできることから
はじめましょう

この瞬間、

・あなたは、私たちが前へ進めるチャンスを持っています。

・あなたは、ロータリーの未来を形作ります。

思い描く将来はここから始まります。あなたと共に始まります。本当に文字通り、この組織の未来を変えるための潜在力はあなたの手の中にあります。

ですから、私はあなたにお願いします。ロータリーの未来に賛同してください。

柔軟性に賛同してください。革新に賛同してください。私たちの未来に投資するために、賛同してください。

新しい世代のロータリアンに投資しましょう。未来への影響力はここから始まります。あなたとともに。
(以上、刀根解説)

ラオスポリオミッション参加のお誘い

地区国際奉仕委員長
浦島 睦（奈良東RC）

当地区は、国際ロータリーが目指すポリオ根絶（ポリオフリー）を目標とし、1995年より20年間、世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局（WPRO）のポリオ根絶活動を独自に支援し、ほぼ毎年、対象国を選定して一週間程度のポリオドロップ活動をポリオミッションとして継続して参りました。

そして、今年度は、地区事業としてラオスでミッションを行う運びとなりました。

今回のミッションでは、11月2日～8日（7日間）に、ラオスのヴィエンチャン、サイニャブリ、ルアンパバーンの3地域でのポリオワクチン経口投与活動及び学校支援を行う予定です。（活動がヴィエンチャンのみの短期コースは、11月2日～5日（4日間）を予定。）これまで同様、WHO/WPRO、JICAのご協力の下、そして、ラオス教育省、ラオス日本大使館とも連携して遂行いたします。



ラオスでは2015年10月からワクチン由来ポリオウイルス1型の流行が続いており、ワクチン由来株としてはマダガスカルに並んで世界最多の10例の発症が報告されています。そのような中で我々が計画しておりますポリオドロップ活動は、ラオス保健省からの大きな期待を受けています。また、奈良ご出身である在ラオス日本国大使館の引原特命全権大使は、「2650地区の支援に深いご縁を感じる。ラオ

スの現状に心を痛めており、大きく期待しております。」と仰っておられ、現地ヴィエンチャンでの夕食会（11月3日予定）にて、是非ミッション参加者に挨拶をしたい、とのご意向を示されています。



2018年ポリオフリーを目前に控えた今、ポリオワクチンは経口投与（ポリオドロップ）から注射での投与へと徐々に切り替わってきており、今回のミッションがワクチン経口投与を体験できる最後の機会となる可能性もあります。そのような状況の中で、ご自身も今回のミッションに参加予定の刀根ガバナーは、「是非、初めての方に体験してもらいたい」との思いを強くお持ちです。

今回もこれまでと同様、現地の子供たちの明るい笑顔に触れることができる意義あるミッションとなるよう当委員会でも最善を尽くす所存でございますので、現地の雰囲気とポリオ撲滅活動の現状に触れる機会として、一人でも多くの会員様にこのラオスポリオミッションにご参加いただければ幸いです。

また、かねてからお願いいたしております通り、当事業をより充実したものとするため、皆様からのご寄付をお待ちしております。多くのご支援・御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

クラブ通信

いま 各県を代表する伝統クラブの現在!

今月は、京都・福井・滋賀・奈良を代表する伝統クラブの会長・幹事様ならびに、今年度のクラブ方針・スローガンを紹介させていただきます。

京都ロータリークラブ

2016-17年 テーマ
「共 結 来 縁」(共に来縁を結ばん)

創立
1925年10月7日



会長 松浦 俊海



幹事 山口 俊弘

第97代会長 松浦 俊海

京都ロータリークラブでは、今年度の会長方針を「共結来縁」(あなたと、みなさんと、今ここに来ったご縁を結びましょう)とさせていただきました。この「共結来縁」は、1270年もの昔、中日友好の先駆けとして唐から来日し多大の文物を我が国にもたらして、遠く故国を離れた唐招提寺の土になられた鑑真和上が、渡日を決意された時のお言葉です。グローバルな現代にも、特に大事な精神で、R.C.の例会での「一期一会」にも通じるものであります。今年度は、私の座右の銘でもあります鑑真和上のお言葉をクラブテーマに掲げ、伝統あるクラブとして「多くの人々と友好を深め、その絆を強くしようではないか」を合言葉に、会員皆様と共に歩んでまいりたいと思います。そして本年が京都ロータリークラブ創立100周年に繋がるよき一年となるよう願っています。

福井ロータリークラブ

2016-17年 テーマ
「ロータリーを好きになる」

創立
1950年10月15日



会長 佐々木 知也



幹事 石丸 敦士

第67代会長 佐々木 知也

今年度クラブテーマは「ロータリーを好きになる」であります。
どんなことでも「好き」になればしめたものです。「仕事を好きになりなさい」と従業員に話しをすることがあります。好きになれば会社へ行くのが楽しくなり業績は自ずと伸びてきます。ロータリーも同じです。会員皆さんがロータリーを好きになることで会員が増え、出席率は高くなっていくことでしょう。皆さんがロータリーを好きになるきっかけをつくるのが会長の役目だと考えます。明るく楽しいクラブづくりを目指します。

大津ロータリークラブ

2016-17年 テーマ
「前 途 洋 々」

創立
1950年12月19日



会長 大林 一郎



幹事 木村 禎

第67代会長 大林 一郎

66年目を迎える大津ロータリークラブには、これまでに諸先輩方が築いてこられた良き伝統が息づいています。クラブ運営は規則に則り厳格なまでにしっかりとなされ、規律正しさと緊張感がありながら、雰囲気は和やかで、会員同士が親睦を深め、友情を育むことができる場を提供しつづけています。会員は皆それを享受し、自らの職業に精励する傍らで、それぞれがロータリーで学び、ロータリーを楽しんでいます。歴史110年を超える国際ロータリーが大きく変化する中であっても、この良き伝統を損なうことなく継承していきたいと考えます。

奈良ロータリークラブ

2016-17年 テーマ
「持続可能な奈良ロータリークラブを目指して、会員相互が親しみ合って、楽しく奉仕活動に邁進しよう。」

創立
1952年3月27日



会長 中本 勝



幹事 中野 聖子

第65代会長 中本 勝

今年度、奈良ロータリークラブは、創立65周年を迎えることとなります。今、世界は、そして日本の社会は大きく変化し、世界のロータリーも、日本のロータリーも大きく変化しようとしています。そのような中、奈良クラブは、持続可能なクラブ運営に向けて盤石の基礎に乗せることが大切ではないかと考えています。そのためには、必要な変化を怖れてはならないと考えます。会員相互が親しみ合い、楽しみながら奉仕活動を行うことが必要不可欠と考えます。奈良ロータリークラブの長所を少しでも伸ばし、短所があるとすれば、それを可能な限り目立たなくするよう、微力を尽くしたいと考えています。奈良ロータリークラブは、世のため、人のため、そして、何よりも、会員であるあなたのために存在するクラブなのです。

第2650地区 2016年6月 会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	28	0	1	27	27	1	1	4	100.00	0
福知山	58	1	0	59	59	4	4	5	93.67	1
福知山西南	40	0	0	40	39	4	3	4	95.94	0
亀岡	29	0	0	29	26	3	0	4	100.00	0
亀岡中央	11	0	0	11	11	1	1	4	87.07	1
京丹後	29	0	0	29	27	4	2	4	91.56	1
京都	189	3	1	191	194	26	25	5	98.99	0
京都伏見	93	2	2	93	90	5	2	4	92.29	10
京都平安	26	0	3	23	27	0	4	4	76.72	6
京都東	96	0	5	91	93	5	7	4	95.38	0
京都東山	74	1	2	73	76	3	6	3	97.45	3
京都北東	25	0	0	25	26	3	3	5	83.32	1
京都城陽	32	0	0	32	30	3	1	4	100.00	2
京都桂川	29	0	0	29	30	0	1	4	90.64	0
京都北	68	0	0	68	68	4	4	5	88.35	0
京都南	235	0	5	230	214	31	15	4	94.29	0
京都モーニング	42	0	2	40	41	3	4	5	92.56	3
京都紫野	59	0	3	56	54	7	5	5	100.00	0
京都中	41	0	3	38	34	9	5	4	96.35	0
京都西	102	2	1	103	100	7	4	4	99.49	0
京都西山	20	0	0	20	19	1	0	4	100.00	1
京都乙訓	42	0	1	41	40	3	2	4	85.39	1
京都洛中	91	0	0	91	92	4	5	4	100.00	0
京都洛北	73	0	2	71	69	6	4	5	100.00	0
京都洛南	32	0	0	32	31	2	1	4	90.50	2
京都洛西	51	0	2	49	51	2	4	4	88.23	5
京都洛東	42	1	0	43	40	3	0	5	91.84	0
京都嵯峨野	23	0	0	23	19	4	0	4	64.13	1
京都さくら	31	0	5	26	34	0	8	4	81.67	8
京都西北	45	0	3	42	42	3	3	5	86.35	2
京都西南	45	0	1	44	46	1	3	4	96.87	4
京都紫竹	37	0	0	37	36	3	2	4	100.00	2
京都朱雀	41	0	7	34	42	3	11	4	87.85	3
京都田辺	18	1	0	19	17	5	3	5	92.22	3
京都山城	33	0	7	26	37	2	12	5	89.19	0
京都八幡	30	2	1	31	29	5	3	4	90.80	4
舞鶴	29	0	1	28	25	5	2	3	94.60	0
舞鶴東	40	0	3	37	34	6	3	4	86.18	4
宮津	35	0	1	34	35	1	2	4	92.58	0
園部	24	0	1	23	24	0	1	4	96.59	0
宇治	40	0	1	39	37	3	1	4	98.02	1
宇治鳳凰	51	0	4	47	48	5	6	5	90.32	6
小計	2,179	13	68	2,124	2,113	190	173	4.2	92.32	75

奈良県 (14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	53	3	0	56	57	3	4	5	96.18	0
五條	37	0	3	34	34	4	4	4	88.90	1
平城京	26	0	2	24	28	1	5	5	85.80	2
生駒	24	0	2	22	24	5	6	5	87.39	3
橿原	50	0	4	46	49	4	7	4	81.18	1
奈良	132	1	8	125	134	10	19	4	93.83	4
奈良東	41	0	3	38	40	3	5	4	89.10	0
奈良西	45	0	2	43	44	3	4	5	82.00	2
奈良大宮	72	0	4	68	71	2	5	4	95.08	0
桜井	18	0	3	15	18	0	3	5	80.00	3
大和郡山	55	0	3	52	53	3	4	4	92.08	2
やまとまほろば	31	1	0	32	32	2	2	4	91.28	2
やまと西和	26	0	2	24	28	1	5	4	91.97	2
大和高田	96	0	1	95	93	6	4	4	99.45	4
小計	706	5	37	674	705	47	77	4.4	89.59	26

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	126	0	1	125	121	12	8	5	83.12	12
福井あじさい	65	0	2	63	61	4	2	4	80.67	5
福井フェニックス	56	0	0	56	52	4	0	4	79.02	9
福井東	47	0	1	46	43	7	4	4	79.97	9
福井北	111	0	7	104	104	9	9	4	70.53	9
福井南	35	0	0	35	33	2	0	4	83.75	0
福井西	34	0	2	32	33	3	4	4	85.67	3
福井水仙	23	0	1	22	20	3	1	5	78.26	2
勝山	30	0	2	28	28	3	2	4	66.67	3
丸岡	36	0	2	34	32	6	4	5	79.76	1
三国	33	0	1	32	31	2	1	4	86.50	4
大野	41	0	1	40	38	3	1	5	87.05	2
鯖江	33	1	2	32	32	3	3	4	79.50	3
鯖江北	13	0	0	13	15	0	2	4	76.92	0
武生	61	0	4	57	61	5	9	3	78.95	2
武生府中	30	1	1	30	30	2	2	4	96.42	0
敦賀	35	0	2	33	29	6	2	5	80.95	1
敦賀西	18	0	1	17	17	2	2	4	83.33	1
若狹	28	0	2	26	25	4	3	4	98.95	1
小計	855	2	32	825	805	80	59	4.2	81.89	67

滋賀県 (21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	44	0	2	42	44	0	2	4	91.09	1
五個荘能登川	22	0	1	21	21	3	3	4	72.73	0
東近江	33	0	3	30	35	1	6	4	92.73	0
彦根	62	1	1	62	67	4	9	4	91.53	5
彦根南	63	0	0	63	66	3	6	4	95.84	0
湖南	41	0	1	40	39	7	2	5	90.14	4
草津	30	0	0	30	31	2	3	4	91.08	0
水口	40	1	4	37	37	7	7	4	94.01	0
守山	41	0	2	39	37	5	3	4	96.73	1
長浜	62	0	3	59	58	6	5	4	96.10	1
長浜東	62	0	5	57	62	4	9	4	97.33	0
長浜北	27	0	1	26	24	5	3	3	96.25	4
近江八幡	44	0	0	44	44	4	4	5	98.38	1
大津	107	3	1	109	105	14	10	4	100.00	5
大津中央	27	2	0	29	29	3	3	4	85.98	4
大津東	24	0	2	22	23	1	2	4	81.11	3
大津西	21	0	1	20	19	3	2	4	95.75	0
栗東	43	0	0	43	37	8	2	5	92.38	2
高島	45	0	1	44	43	6	3	4	100.00	2
野洲	40	0	0	40	40	2	2	4	93.42	2
八日市南	49	0	1	48	49	1	2	4	90.91	2
小計	927	7	29	905	910	89	88	4.1	92.55	37

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ2650	58	0	8	50	58	3	11	3	100.00	5
小計	58	0	8	50	58	3	11	3	100.00	5

合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,725	27	174	4,578	4,591	409	408	4	90.01	210

■表作成にあたって
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
 ・入退会者数、6月会員数および入退会者累計数は6月末現在です。
 ・「期首会員数」は、平成27年7月1日入会の会員数を含みます。

国際ロータリー第2650地区 2015-16年度 6月 会員の動き

6月入会者一覧			6月退会者一覧			クラブ名 氏名			クラブ名 氏名			クラブ名 氏名			クラブ名 氏名			クラブ名 氏名		
武生府中	酒井 秀夫	学校教材販売	福井北	岩井 法彦		クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	
鶴江	川上 勝義	電気工事	福井北	酒井 康行		敦賀西	力野 豊	綾部	今川 和則	京都朱雀	那須 浩郎	京都洛北	林 忠義	奈良大宮	土谷 宗一	京都朱雀	那須 浩郎	京都洛北	林 忠義	
大津中央	加藤 美幸	リハビリサービス	福井北	林 昌宏		若狭	谷 大智	宇治	杉本 貞雄	京都朱雀	名古 光良	京都洛北	水野 成人	奈良大宮	萩原 徹	京都朱雀	名古 光良	京都洛北	水野 成人	
大津中央	小林 浩介	商業銀行	福井北	江川 権一		若狭	吉見 博	宇治鳳凰	川田 一公	京都朱雀	弓倉多佳夫	舞鶴東	橋本 正明	奈良東	植野 康夫	京都朱雀	弓倉多佳夫	舞鶴東	橋本 正明	
水口	田中 伸幸	商業銀行	福井北	片山 康彦		びわ湖八幡	野田 英彦	宇治鳳凰	橋内 勇生	京都西南	児島 孝之	舞鶴東	中野健太郎	奈良東	奥野 正彦	京都朱雀	児島 孝之	舞鶴東	中野健太郎	
彦根	中居 隆幸	ビール醸造	福井北	八木真一郎		びわ湖八幡	澤田 淳	宇治鳳凰	古川 隆文	京都西南	松芝 政雄	舞鶴東	西村八十次	平城京	井岡みや子	京都朱雀	松芝 政雄	舞鶴東	西村八十次	
大津	田中 節男	携帯電話事業	福井北	本道 修司		湖南	高島 正光	園部	廣瀬源太郎	京都西北	柱田 明久	やまと西和	西野 雅彦	桜井	上田 貞夫	京都朱雀	柱田 明久	やまと西和	西野 雅彦	
大津	高木 浩	損害保険	福井北	前田 知子		高島	大島 正光	宮津	野田 真人	京都西北	中江 靖	やまと西和	前田 英明	桜井	五味 和代	京都朱雀	中江 靖	やまと西和	前田 英明	
大津	樹田 昌彦	生命保険	福井北	伊藤 博道		水口	上嶋榮生己	京都	西岡 幸一	京都西北	野村 義弘	京都中	榎原 啓子	道村佳代子		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都	金丸 泰輔	新聞発行	福井北	前田 知子		水口	山本 順生	京都さくら	安達 順二	京都中	榎野 雅治	京都中	榎原 啓子	赤松 徹		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都	山口 智啓	航空事業	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	池田 寿子	京都中	藤岡 隆司	京都中	榎原 啓子	尾崎千鶴子		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都	平原 美則	証券業	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	大橋 洋	京都中	吉村 賢	京都中	榎原 啓子	川上加代子		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都伏見	小倉さやか	税理士	福井北	前田 知子		水口	山本 順生	京都さくら	田中 良明	京都東	加地 保裕	京都東	釜田 博史	未政 靖晴		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都伏見	北原 誠吉	自動車整備	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	三上 靖宏	京都東	長谷 幹雄	京都東	釜田 博史	谷本 卓		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都東山	牧野 康司	民事弁護士	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史	治部 尊博		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都八幡	近藤 芳子	鉄工建設	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史	中川 清博		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都八幡	上野 富都	不動産	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史	松本 成史		京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都洛東	清野 篤	社会保険労務士	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都田辺	加藤由紀子	社会保険労務士	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都西	山中 一茂	ホテル	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
京都西	辻井 健	不動産賃貸	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
福知山	古谷 昌之	損害保険	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
やまとまほろば	吉田 明史	教育	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
奈良	丹羽 亮太	生命保険	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
あすか	八木 保郎	貨物自動車輸送	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
あすか	前田 信也	損害保険	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	
あすか	柿本 健三	人材派遣業	福井北	伊藤 博道		水口	山本 順生	京都さくら	山中 祥弘	京都東	増田 正蔵	京都東	釜田 博史			京都朱雀	野村 義弘	京都西北	野村 義弘	

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
水口	北村 健哉
舞鶴	山下源一郎
宇治鳳凰	木村登志雄
奈良西	片岡 稔
奈良東	朝倉 進
平城京	矢道 盛賢

米山梅吉記念館便り

シリーズ① 米山梅吉の横顔

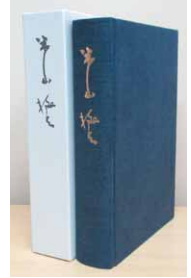
米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で囁目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉15.6歳頃。壁に半紙で「有一志」の文字。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付 本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝
 出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上らせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文藻も掲載しています。

秋季例祭 | 平成28年9月24日(土) 午後2時~ 式典/講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館
 登録料無料 アトラクションあります。多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
 〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
 TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
 URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
 Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
 [開館時間] 午前10時~午後4時
 [休館日] 月曜日/12月28日~1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



Kyoto
Nara
Shiga
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所 ●
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階250号室
 TEL:075-353-2650 FAX:075-343-2651 E-mail:gov2016-17@rid2650.gr.jp